


金沢こころの電話

ほっとライン

No.128

ご相談は…  金沢こころの電話
222-7556

 シルバーこころの電話
260-7272

公益社団法人金沢こころの電話 創立50周年記念式典

～こころをつないで これからも～

11月16日(日) 金沢東急ホテル5F 1部・2部 ボールルームA
【1部・式典】挨拶・永年表彰授与・感謝状授与・来賓祝辞・来賓紹介



馳 浩 石川県知事



村山 卓 金沢市長

昨年11月16日(日)、創立50周年記念式典が金沢東急ホテルで開催された。まず、村田会長は挨拶で「50年前、青少年の自殺防止から始まった金沢こころの電話は手探りと手作りの歴史だった。多岐にわたる相談電話への対応に一貫しているのは、かけ手の訴えに謙虚に寄り添い傾聴することに徹した姿勢だった」と述べられた。

続いて20年以上活動してきた会員に対して永年表彰が行われ、30年以上賛助会員として多額の寄付や会の運営や講座の継続に尽力をいただいたお二人の方への感謝状授与が行われた。

石川県知事、金沢市長、社会福祉法人石川県社会福祉協議会 永下和博専務理事、一般社団法人日本ののちの電話連盟 李清一副理事長にご臨席いただき、永年の活動に対して感謝とねぎらいのお言葉をいただいた。

馳知事は「半世紀にわたり電話相談を通して様々な方に寄り添っていただき心から感謝申し上げる。皆さんが果たしてきた役割は大きい。すぐには解決できない問題でも、傾聴を旨として相手の気持ちを和らげるとともに、寄り添って、寄り添って、寄り添い続けてこられた皆さんに敬意を表する。50年を契機として、次の時代を切り開いていってほしい」と励まされ、その言葉に私たち参加者も力をいただいた。




～こころをつないで これからも～

**公益社団法人金沢こころの電話
創立50周年記念式典・講演会**

開催日時: 令和7年11月16日(日)
記念式典: 14:00~14:30
記念講演: 14:45~16:00

開催会場: 東急ホテル ボールルームA



式典次第

開 会 の 辞
会 長 換 拶
永 年 表 彰
感 謝 状 授 与
来 賓 祝 辞
来 賓 紹 介
閉 会 の 辞

記念講演・落語会

演題 「尼さん落語家奮闘記
～心の届け込み寺が出来るまで」

落語家・天台宗道心寺住職 露の団庭

プロフィール
上方落語協会所属の落語家。兵庫県豊岡市在住。高校の時にテレビ、ラジオで活動中、高校在学中に人生を軸とする落語に没頭。落語家になるか悩んでいた中、落語の面白さ、世評・書評の面白さに魅了され、落語を自分自身かきくことが落語の醍醐味と知る。初代・露の落語家としての道を歩む。落語家への門、王として活躍。社会の課題解決に貢献している。2013年、文部省で賞状。2012年、北越山で落語修行を受け正式な落語家となる。年間250席以上の落語会に出演。落語家として、全国に活躍する落語家の落語家、好きで落語家。「一橋を渡る子」、尼崎市男女共同参画推進委員会。

～こころをつないで これからも～


公益社団法人金沢こころの電話
創立50周年記念パーティー

開催日時: 令和7年11月16日(日)
16:30~18:30

開催会場: 東急ホテル 5F ボールルームC

記念パーティー次第

オープニングセレモニー
加賀森田流南京たますだれ
開会挨拶
来賓・相談役紹介
来賓・会員からのメッセージ
乾杯の儀 会食・懇談
アトラクション 金沢クラリネットアンサンブル



記念講演・祝賀パーティー



講演される露の団姫



落語は
衣装を変えて



金沢クラリネットアンサンブル



加賀森田流の皆さんによる南京玉すだれ

金沢市社会福祉協議会は非営利の民間団体であり、市内には54地区（小学校区ごとに1つ）に地区社会福祉協議会がある。市民団体、民生・児童委員、サービス提供事業所、ボランティア団体などの地域住民により組織され、細やかな活動を行っていることを知ることが出来た。また、金沢こころの電話に相談される方々のなかには具体的な対処が必要な人も多い。生活支援が必要な人を早急に機関につなげて支援する方法もある。今回の研修はその目的にかなった貴重な研修だった。



わかりやすく社会福祉の仕組みをご講義いただいた



全体研修

金沢市の社会福祉

～障害のある人への対応・生活保護等のしくみ～

- ◇日時 令和7年8月3日(日)
- ◇場所 石川県社会福祉会館F会議室
- ◇講師 宮下 吉広氏

(金沢市社会福祉協議会専務理事・事務局長)

会員のための交流研修

会員のためのリラクゼーション (イメージ誘導と音楽を用いたリトリート)

- 日時 令和7年7月26日(土)
- 場所 県立美術館広阪別館
- 講師 北本 福美氏(心理臨床オフィス・プシケ
臨床心理士・公認心理師・芸術療法士)



研修始めに、会員それぞれのリラクゼーションの方法を言いあつた。

音楽を聴く。飼っている犬と戯れる。公園に行き自然と触れる。習い事に集中することで脳を休める。などなど様々なリラクセスさせる方法がうかがえた。

電話相談活動は「感情労働」でありストレスを感じることも多い。いつもすつきり電話相談ができるというわけではない。相談員が日々の健康維持に自律して責任をもつことは大事である。

研修の目的である「日々のセルフケアを音楽する身体を通して知る」方法を実技にて学んだ。ポイントは良質な音と静寂な時間を持つこと、浄化された耳、聴き取り、深い呼吸と地声で話すことなど、今の自分や気持ちにあったムードとテンポを尊重し同調して落ち着かせていくことが大事だとわかった。
皆様の日々の生活が豊かで満たされますように。

(記 K・A)



広阪別館

全体研修

危機的な状況への対応

～ロールプレイと事例検討～

- ◇日時 令和7年9月28日(日)
- ◇場所 石川県社会福祉会館F会議室
- ◇講師 澤井 登志氏
(社団法人メンタルさぼーたーず代表理事)



自殺念慮の相談を受けたときの対応を、実際の電話を編集した事例をもとにグループワークを行った。

「死にたい」と打ち明けられたら、「励まし、勇気づけ、説得」などの言葉をかけてしまいがちである。この研修では、自殺を選んだことも含め

て、その人をまるごと受け入れることについて学んだ。

「死にたいと言うことはよくないことだ」と一般的な道徳の範疇に留まっている限り、死にたい人の気持ちに共感することには無理があり、理解することは難しいと思つた。しかしながら、自殺念慮



事例の共有も大切と語る講師

の相談を受けたときの気持ちに共有することができ、対応を学ぶことができたことは有意義であつた。(U・M)

日本電話相談学会 電話相談へのクレームとハラスメント対策

第38回大会に2名がリモートで受講した。基調講演「カスタマーハラスメントの基礎」その考え方と動向」などを受講した参加者からは、カスタマーハラスメントについては令和8年10月から事業主にカスタハラ防止措置を義務付ける法律が施行されることから、金沢こころの電話においても対応していく必要があると感じた。また、杉山雅宏氏(東京家政大学)の「電話相談の基礎」葛藤を聞かせていただく」を受講した参加者からは、相談者の話の流れを止めずに聴くこと、感情の変化に寄り添っていく、などを学び有意義で実践的な内容だったとの感想をいただいた。

カウンセリング エッセイ

創立50周年の年度にあたり、当法

人内外のたくさんの方々のご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。事務局としての立場で創立記念事業に関われたことを幸せに思います。準備段階で、初期のころも含め、さまざまな記録を紐解きました。まだまだ全国的にも電話相談という組織が少ない中、手探り状態で、悩みを抱える人の助けになりたいと大きな決意をもち、立ち上げられたこと。そしてこれまで、行政機関やこれまでに在籍した延べ700名以上の相談員が、この団体の活動を支えてくださったこと、その長い道程の中でも発足時の目標を持ち続けてきたこと。それらを誇らしく、改めて感謝の念を強くしています。50年間という年月の

「大切なことは変わらない」

～50年の軌跡から学んだ
金沢こころの電話の精神～



公益社団法人 金沢こころの電話

事務長 得永 篤子

中で、社会環境も変化し、相談内容も少しずつ変わってきています。ですが、変わらないものがあります。金沢こころの電話の財産は、「人との関わり」ということです。人は大勢の人の中においても孤独を感じます。一人でいても、満ち足りた心でいることもできます。あなたが大切、今のままのあなたでいいよ、と誰かに言ってもらったとき、初めて孤独から解放され、力を発揮できるようになるのです。この「人」とは電話を架けてくださる相談者であり、支援してくださる行政や賛助会員の皆様、そして相談員です。コロナ禍で傷つき、能登地震や豪雨で痛手を負い、それでも私たちが信じ、架けて

てくださる方々や支え続けてくださった皆様との信頼関係を今後も紡いでいきたいと思います。それは決して小さな目標ではないと信じています。

記念冊子等



編集後記

立春をすぎて金沢の空は重く冷たい日が続きます。広報部も無事50周年記念誌などを発行することができました。

最近では便利なAIの話題も耳にしますが、これまでの歩みに思いをはせながらも、金沢こころの電話は手作りの便りや受話機越しに聞こえる声にほっとすることを信じ、これからも皆様と歩んで行きたいと思っています。

(記 N・Y)



おことわり

研修会などの報告は、広報部会が依頼した会員が書いたものです。内容については個人の解釈もあることをご承知ください。

発行 公益社団法人
金沢こころの電話
事務局 〒920-0964
金沢市本多町3-1-10
電話 (076)222-7531
FAX (076)222-5352
http://kkd-ishikawa.jp/soudan
e-mail kkd@beach.ocn.ne.jp
編集 広報部会
印刷 楸橋本清文堂